

令和2年度3月定例麻績村教育委員会 会議概要

開催日時 令和3年3月1日(月) 午前9時30分～

開催場所 麻績村地域交流センター 第3・4研修室

出席委員	職務代理	市ノ瀬淳一	委員	小山正文
	委員	宮川裕満	委員	宮下温子
出席職員	麻績保育園長	臼井孝夫	麻績小学校長	佐々木英明
	筑北中学校長	中原 敏	教育長	飯森 力
	教育次長	塚原優仁	主 事	佐藤克哉

1 開会

2 教育長挨拶

3 報告事項

①教育長報告

・近況報告

質疑内容

小山委員:教育委員会とは関係ありませんが、小東定住住宅の申し込みはたくさんあったのでしょうか。

教育長:5組選定しましたが応募は10組ありました。選定は出来るだけ若者をということであります。

小山委員:村外からも応募はありましたか。

教育長:ほとんど村外です。麻績に住所がある方も奥さんが一時帰郷している場合であったりなどという形です。

②保育園長報告

・近況報告

質疑内容

宮川委員:先日保育園にお子さんがいらっしゃる親御さんから保育園の雪かきの体制はどうなっているかと聞かれたんですがどのような体制なのでしょう。

臼井園長:雪かきにつきましては降雪量によりますが、多い時には役場で頼んでいる業者をお願いすることがありますが、今年はそれほど降っておりません。駐車場については基本的に保育園の職員が雪かきをするということになっています。陽当たり

が良いです。である程度の積雪がないと雪かきをしないという風になっていますが、今年は3回ほど行っています。有志と言いますか保護者の方で雪かきをしてくださる方もいらっしゃいますが、朝皆さんお勤めで忙しい中ですので全部雪かきをするというわけにはいきませんし、所管の問題ですが、今のところ保育園で使っていますが住民課のやまぼうしの所管となっていますので、必要な範囲や通路については職員の方で対応するようにしています。あくまで保護者の皆さん有志という形でやってくださっている方もいらっしゃいます。

宮川委員: 役員になったら雪かきをしなければいけないというような話を聞いたのですがそのような決まりはあるのでしょうか。

臼井園長: 役員が雪かきをするというような決まりはありません。多分忙しい中ですが、雪かきをしている方が役員じゃないのに役員の方が子どもを送って帰っていったのがどうなのかという話を聞きましたが、特にそういった決まりはないので職員の方で対応するというございます。

宮川委員: 自分たちの時にも送って行って雪かきをしてということをやっていたので、役員が率先して雪かきをしているという話になっているようです。

臼井園長: その話が役員の方の耳にも入ったようで、役員の方はご家庭にお子さん2人おいて雪かきに来て、また帰って子どもを連れてくるということがありまして、それは本末転倒してしまうことですからあくまでも職員で対応するという形にしています。

③小学校長報告

・近況報告

質疑内容

宮川委員: 小学校の学校評価アンケートについて教師の姿、学校の取組というところで、先ほど先生が怒っちゃって帰りに反省しているという話を聞いて今は先生たち本当に怒れなくて大変だと思います。ダラダラ怒るのではなくガツンと1回怒るだけであれば私は良いと思います。むしろ「良いわ良いわ」でやっちゃうとろくな大人にならないような気がします。どうなんでしょうか。

佐々木校長: 反省している時というのはほとんど周りから見ても「やりすぎたね」という感じ。2学期後半からは学校の職員から大声が発せられたのは命の危険があるようなとき以外には無くて落ち着いています。我々もこのタイミングでどんな風に叱るのか、指導するのかということを考えていますがやっぱり難しいなと思います。ベテラン先生が多いのできっと出来ていると思いますが、その中でも「まづかったかな」ということはありますが、それほど気になるというか問題になるようなことは今のところ無いのかなと思っています。先生も結構気にしています。学級通信を書いている時にいつもと違う書き方をされていたので聞いてみたら「やっぱり分かりますか」ということでそのくらい一言一言に気を遣っています。

宮川委員:保護者がよっぽど言ってこなければ良いと思いますが時代が時代なんではないでしょうか。
佐々木校長:色々ありますが感じ方はみんな違うので、とにかく話を聞いた上で納得できるように、最終的にそのことを子ども達が話を出来ないような状態で接すれば保護者も当然おかしいと思いますので、そういうことがないようにと思っています。

塚原次長:その他によろしいでしょうか。

宮下委員:小学校の学校評価アンケートの家庭学習の部分で親子で意識の差がついているということで、以前からのドリルを使った学習から自主学習にシフトしているという関係で親が思っているのは積み重ねてきた学力が低下してしまうのではないかと心配していて、低学年の子はまず何をしようというところから時間がかかる子もいる現状なんですけど、これからの学習には大事なことなんだな、学習のスタイルになっているんだなということを感じていて、親も口を出さないという意味で一緒に取り組むじゃないですけどそういう時間になっているかなと思います。全学年そんなような家庭学習をしているということでしょうか。

佐々木校長:今年は年3回学期ごとにやりました。特に後半のところ2学期のところは要素を強めました。ただ試行錯誤しているところなので学年や先生同士で「こんな風にやってみよう」と工夫をしているところです。これからの教育の中で求められていくものでもありますが、実は一番今のお話に合ったような不安を抱えているのは職員です。職員の中にも今までのドリルや計算練習、漢字の書き取りをやらなければ力にならないのではないかとこの考えがあるので、その意識から変えていかなければいけなくて一気に変えるということにはいけません。ただし、たまたま2学期にやった時の感触が先生方には思ったよりも良かったということがあって、すべてを無しにするということではないです。もちろん定着のための読み書きや計算というところについて反復練習的な部分もやっていきますが、それ以外のところで一人ひとりの子どもたちの興味関心を伸ばしていくような取り組みをGIGAの関係もありますので目指していけないといけないと思っています。来年度もう一步踏み込みながら完全に100が0になるということではなく柔軟に、時々によってそういう学習を大事にする期間ということをやっていきたいと思っていますので、保護者の方もそういったものを含めてお子さんと接していただけたらと思いますので意見を聞きながらいい形に出来たらと思います。

④中学校長報告

・近況報告

質疑内容

市ノ瀬職務代理:中学の校外学習についてですが、保護者の方には説明をしてあるということは保護者の同意はあるということですか。

中原校長:両方のパターンがあります。「やっぱり危ないんじゃないか」という意見も当然ご家庭に高齢のおじいちゃん、おばあちゃんがいらっしゃる場所は仕方ないなど

いう思いもあります。一応参観日の中では保護者の皆さんが賛成してくださっていて、ぜひ行ってもらいたいという声の方が多かったです。

市ノ瀬職務代理: 計画してくださって大変ありがたいと思います。ぜひ事故の無いようによろしくお願いいたします。

塚原次長: その他によろしいでしょうか。

宮川委員: 中学校の校外学習についてですが、知り合いからその話を聞いて子どもたちは既に喜んでいるようです。子ども達もみんな結構知っているようです。こういうことがあるとやっぱり嬉しいようです。何も無いと思ってシュンとなっていたけれども、この話を聞いてすごくやる気が出てきた子が何人かいるらしいです。

塚原次長: その他にございますか。よろしいでしょうか。それでは協議事項に進みます。

4 協議事項

①令和3年度 教育委員会主要事業計画(案)について

②令和3年度 社会教育・社会体育事業計画(案)について(報告)

・2月25日開催の社会教育委員会・公民館運営審議会において事業計画承認済

⇒誤字脱字等の指摘があり内容についての指摘は無し。計画案については全て承認。

③就学援助対象児童生徒の認定に係る要綱について

⇒内容について指摘事項無し。要綱の交付について承認。

5 その他

①各委員から

・特になし

②事務局から

・小中学校GIGAスクール構想の進捗について

・小中学校の今後の工事予定について

・卒業式と入学式の来賓対応について

次回開催日程 4月8日(木) 午前9時30分～

6 閉会